



中原ハルミさん
下山地区を中心に地域福祉活動で活躍。優しく温かい話し方とポジティブな考え方でかかわる人の気持ちを優しくさせてくれる。包容力のある地域のお母さんの存在。プライベートでは2人の息子を育て上げたベテランママ。

対談 『子育てサロン』支援・助成事業

楽しく子育てしたいよね

子どもってかわいいけど、育てるとなると大変。情報はたくさんあるけれど、たくさんありすぎて何を信じればいいのかかわらない・・・そんな経験はないでしょうか。そんな時、あなたなら誰に相談しますか？夫？ご両親？友達？地域の人？きっとここで地域の人と答える人は少ないのではないのでしょうか。地域にも子育てを応援している人たちがいることを知っていただきたくて、今回は子育てサロン「すくすく」の立ち上げ人である中原ハルミさんにインタビューをしました。

撮影：大瀬公美子(わいわい わくわく 東区七夕まつり)、吉田理(対談)



『子育てサロン』とは…

子育て中の親子の不安・ストレス解消、情報交換の場として親子が気軽に集い、助け合う『親子の居場所』です。東区社会福祉協議会はサロンに助成し、地域での子育て支援活動をサポートしています。

本多: 中原さんの活動をご紹介ください。

中原さん: 子育て中の親子の居場所として、子育てサロン「すくすく」を2回下山コミュニティハウスで開催しています。その他にも小・中学校や保育園等での絵本の読み聞かせ、登校時の見守りパトロール、通学路の草取りと花植え、地域の居場所「あいあい」の運営などの活動をしています。

本多: 活動を紹介するだけでも1ページ必要ですね。中原さんが地域での活動を始めたきっかけを教えてください。

中原さん: 小学校の講師をしていた時に、子育てには小学校の先生だけでも、親だけでもだめで、いろんな大人がかかわることが大事だと感じていました。地域のおせっかいなおじさんとかおばさんとか、第三者がかかわっていかないと。自分の子どもだけが良ければいいということではなくて、周りも良くないといけないと思うんです。そこで、子どもたちにとっていい環境を作るために何ができるかと考えて活動していたら、どんどん活動が増えていきました。

本多: これだけたくさんの活動をしながらも、フラダンスなどの趣味活動もされていると伺いましたが、そのパワーはどこから来るのですか。

中原さん: 自分の人生だから、悔いのないように、やりたいことは全部やってみよう。地域での活動は、かかわった子どもたちが大きくなってその成長を見守り続けられるし、会った時に声をかけてくれたりするので、自分に返ってくるものが大きいんですね。だから楽しんでやっています。楽しみながらやるのが続けられる秘訣でしょうね。

本多: 中原さんご自身の子育て談を教えてください。苦勞されたことはありましたか？

中原さん: 子育てをする中で、子どもの話をよく聴くように心がけていました。そのせいか、息子たちが大きくなった今でも会話は多いですね。子どもに反抗期もありましたし、その当時は苦勞もしたんだろうけど、今になってみると楽しい思い出です。

本多: 子育てのコツはありますか？

中原さん: 親はこうあるべき、子どもは大人の言うことを聞くものだという考えの方もいらっしゃいますが、子どもは親の姿をよく見ていますから、取り繕ってもちゃんと見抜いているんです。完璧な親なんていないから、できないことはできないと親が自分をさげ出しちゃえばいいと思うんです。私は逆上りのコツは知っていたけれども実際にはできなかったんです。子どもにコツを教えてあげたら逆上がりができるようになって、すごく得意そうにしていました。それでいいと思うんです。

インタビュアー：本多綾
東区社会福祉協議会CSW。
3歳の娘の子育てと仕事のバランスに悩みながら、日々奮闘中。



本多: 子育て中のママに一言お願いします。

中原さん: 今のママたちは余裕がないですね。失敗してはいけないとか、こうしなきゃいけないと思っている。でも、子育ては今で終わりではないんです。これからずっと続くものだから、長い目で見ていけばいいんです。できないことや困ったことなどマイナス面ばかりに目を向けるのではなくて、子どもをいろんな角度から見ると、プラスの面が見えてくるはずですよ。今はできなくても、時が来ればできるようになるんだから焦らなくて大丈夫。

本多: 例えば、私が今直面しているのは子どものおむつが外れないことなんですが、焦らなくてもいつかは取れるということでしょうか。

中原さん: そうね。個人差があるから、〇〇ちゃん是可以できるようにになったのに…って思いがちだけど、大人になってもおむつが外れないなんてことはないんだから、その子のペースでみてあげればいいの。語学は小さい時から学んでいたほうが習得しやすいけど、それ以外は「その時」が来たらいいの。それから、困ったときは周りにもっと「助けて」とSOSを出して。地域にお願いできる人がいなかったら、社協のような窓口を利用するなど、自分が一歩踏み出してかかわっていけば必ず助けてくれる人はいますよ。

本多: 中原さんとお話をして、気持ちが軽くなりました。ありがとうございました。

「わいわい わくわく 東区七夕まつり」

7月6日、東区役所のエントランスホールで「七夕まつり」が開催されました。地域の子育てボランティアとして中原さんにお手伝いいただきました。たくさんの方に参加いただき、子どもたちも楽しそうに短冊に願いごとを書いていました。

NEWS

ふじみまつり 2012のお知らせ

9月9日の日曜日に、ふじみまつりを行います。東区社会福祉協議会と、手作りパンでおなじみのワークセンターふじみ様で、今年も一緒に**共同開催**いたします！共同開催も3年目。地域に感謝をこめて楽しいイベントにしたいとスタッフ一同張り切っています！どうぞご期待ください！！

子どもたちに大人気の「きりりん」も登場！



- 日時** 平成24年9月9日(日)10:00~15:00
- 場所** デイサービスセンター藤見・ワークセンターふじみ
- 内容** 健康相談、送迎車体験、AED講習会など
ワークセンターふじみ会場ではバザー、食品販売など



こんにちは、東区訪問介護センターです。

平成24年4月から中央区東訪問介護センターの一部が統合し、東区全域と江南区の一部で事業を実施しています。ヘルパーも総勢73名と大所帯となりました。今後は地域部門と連携し、より地域に密着した訪問介護サービスを目指します。

また、障がいのある方の外出をサポートする移動支援事業にも力を入れて行きます。ご利用の方は、是非ご相談下さい。

ガイドヘルパー募集!!

ヘルパー2級以上の資格をお持ちの方で、移動支援の資格をお持ちの方はご連絡下さい。資格を取ったばかりで心配という方もお待ちしております！

お問合せ:
電話:272-1754
担当:片野(かたの)

